



# T

退院後も

# T

つながります

# A

あなたの

# K

ところとからだ

10月15日号  
地域連携室発行

朝夕は少し肌寒く感じ、すっかり秋らしくなってきましたね。  
体調を崩しやすい季節でもありますが、みなさんいかがお過ごしでしょうか？

今回は、新しくなった内視鏡センターにインタビューしてみました。



## 紹介します！『内視鏡センター』



Q：内視鏡センターの紹介をお願いします。たくさん自慢してください。

内科医師、外科医師、看護師3名（内視鏡技師2名）パート看護師1名、常勤クラーク1名、毎日笑顔と愛嬌で頑張っています。

スタッフはもとより、内視鏡機器も最新鋭のハイビジョンシステム！

内視鏡診断、治療向上のため全てハイビジョン画像システムでの検査を行っています。

スコープもハイビジョン対応の260シリーズが勢揃いし、処置時にはウォータージェット機能付きのスコープ、処置しにくい所にある病変には2チャンネル内視鏡 GIF-2T260M もあり、さまざまな検査・処置に対応できます。

患者様が安心して検査が受けられるように、スタンダードプリケーションの観点から検査ごとに内視鏡機器のハイレベルな洗浄・消毒を実施し、安全性の向上を図っています。

24時間体制で、緊急内視鏡も必要時にはスタッフが駆けつけます！もちろん夜中でも…OK！



Q：新しくなって変わったところは？

以前は内視鏡室が1階、透視室2階と別になっていたのが内視鏡センターとなり、業務がスムーズに流れ幅広く柔軟に対応できるようになりました。「お~い」の声掛けですぐスタッフが飛んできてくれます。

患者様のプライバシー保護や安心して検査が受けられるように検査室・処置室を個室にし、またリカバリーベットも内視鏡センター内に設けた事で患者様のアフターケアも充実してきました。

## Q:内視鏡は検査や診断だけでなく処置も行えるのですか？



もちろんです！！

胃の内視鏡…ポリープの切除、早期胃癌に対してはESD（切開剥離術）という処置により開腹せず切除をすることなどが出来ます。

大腸の内視鏡…ポリープの切除、EMR（粘膜切除）などの検査目的を兼ねた治療や、吐血・下血時には止血術を施行します！

これらは短期間の入院ですみ、患者様の負担もかなり軽くなるため年々件数が増えてきています。

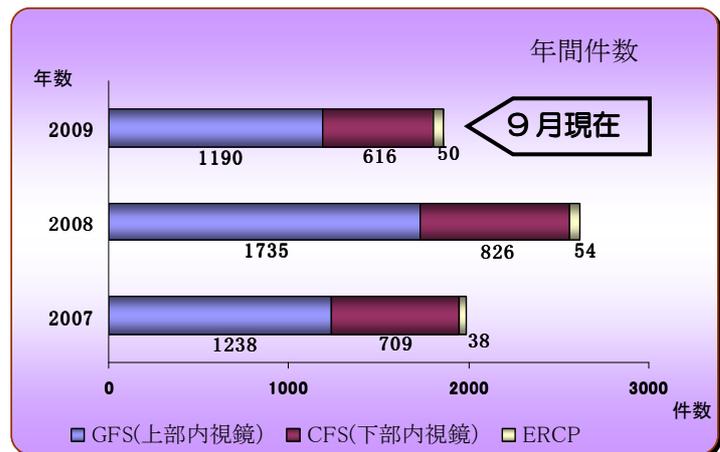
超音波内視鏡…病変の断面の詳細な超音波画像を調べる検査です。内視鏡のチャンネルの中にミニチュアプローブという小さな超音波装置を入れて調べます。食道、胃などの粘膜下腫瘍の質的診断、胆嚢ポリープなどの精密検査、膵臓の嚢胞や腫瘍病変の診断が可能です。

ERCP（内視鏡的逆行性膵管・胆管造影）

この検査は入院必要です。胆管結石の除去が必要なときなど、胆管膵管領域の精密検査です。内視鏡検査のなかでは、膵炎などのリスクのある特殊な検査です。

## Q：どれくらいの方が内視鏡センターで検査を受けられていますか？

春と秋の検診時には、検査が増加します。基本、検査は予約制ですが、緊急時はもちろんのこと、患者様の希望に添えるよう、検査日、時間調整をし検査を行っています。心配な事、聞いてみたい事等ありましたら、内視鏡受付まで相談してください。



## Q：『内視鏡検査』と聞くと、不安に思う方が多いと思いますが。

みんな誰でも検査に不安を抱き、怖いと思いながら来られていると思います。

内視鏡スタッフは、いつでも患者さまの目線で声掛けをし、その患者さまにあった方法で少しでも不安が軽減できればと思っています、患者さまの立場になり、より良い看護が提供できるように環境を整え、穏やかな語りかけと、側にいる共感を寄せるなど不安を取り除く行動が自然に出来るように努力していきます。

内視鏡検査、治療に関する研修会や勉強会などにも積極的に参加し、知識、技術の向上に努めています！

T T A K新聞のバックナンバーは、播磨病院のホームページ <http://www.harima-hp.jp/main.htm> からご覧になれます。

By : EY

